

防災教育等の充実

瑞穂町では、地域等の防災力の強化・防災意識の向上を目的として、**町の防災関係職員が輕易に地域等に出向き**、町の特性を踏まえた防災教育などを、年間を通じて臨機に行っています。

自主防災組織（町内会）等



自主防災組織（町内会）
計画の訓練に伴う講話



小規模な防犯・防災に
関する寄合レベルでも、
地元警察と連携して
輕易に実施

社会福祉協議会との連携



在住外国人対象
の防災教育



福祉関係者対象教育

講話の他（アドバイザー参加）
○ボランティアセンター運営訓練
○町内高齢施設防災図上演習

などに参加

防災教育等の充実

学校等（小・中・高校生及び保育士）の教育支援

学校等からの要請により防災講話や総合的な学習の支援を行っています。平成28年の台風により、高校及び中学校も土砂災害の被害にあいました。当時の生徒は卒業しましたが、被害を受けたと云うことを風化させないように配慮しています。



都立高校正門



瑞穂中学校横

都道5号（新青梅街道）

都立瑞穂農芸高校

1年生約150名

瑞穂中学校

全校生徒約800名

園長・保育士

町内保育士等約90名



防災教育等の充実

総合的な学習の時間の支援

瑞穂第三小学校からの要請により、総合的な学習の時間の支援を行いました。「地域の方々に少しでも、防災に関して関心を持って頂くために」という目的で、楽しみながら学ぶというテーマでの「防災祭り」を児童の発意で行うこととなり、地元消防、自衛隊の協力を得て、足掛け5ヶ月にわたり支援しました。

学習支援（見学・質問対応）

10月



11月



防災祭り検討会

12月



事前訓練

10月・2月



防災祭り（2月18日及び2月25日）

AED訓練



訓練展示



防災クイズ



自衛隊も協力



VR車も参加

全校生徒の他、保護者、地元自主防災組織会長他、消防団長、町議会議員も参加
一生懸命、実施している児童の力は大きい。（子供たちの関心は、大人の関心に広がった。）

防災教育等の充実

防災関係職員等の教育訓練等

人事異動に伴う担当職員への災害対策本部開設訓練・災害情報処理訓練や役場内各部課の職員に対する訓練、消防団員に対する講話などを行っています。

災害情報処理訓練等



職員訓練・教育



消防団幹部教育支援



今後の課題（方向性）

瑞穂町は、災害が少ないと言われる町ですが、それが故に、ややもすると防災意識が希薄になる恐れがあります。自主防災組織は、町内40個団体ありますが、意識も高く毎年訓練等の活動を行っている団体は十数個団体であり、今後、未活動団体の活性化や町民の防災意識の維持・向上に努めたいと考えています。